



西区まるごと博物館推進会

「歴史を訪ね・自然観察・あるいて健康」の一石三鳥！楽しかったあ～
 — 「西区の宝」 まるごと能古島ウォーキング きねんアルバム —

- 目的 ウォーキングを通じて能古島の自然・歴史に触れ、「西区の宝」への理解を深める
- 主催 西区まるごと博物館推進会（担当部署：企画・広報部会）
- 共催 福岡市西区役所
- とき 平成29年5月14日（日）快晴 一般参加者 41名
- ところ 福岡市西区能古島 ➡ 白髭神社・能古博物館・幻の能古焼「能古焼古窯跡」・能古の万葉歌碑・鹿垣&馬牧跡・いろり村楽居窯・のこのしまアイランドパーク
- 内容 ウォーキングをしながら、「歴史探訪・自然観察・陶器窯見学」及びレクリエーション（説明：能古博物館職員、当歴史部会・自然部会々員）



受付風景



“フェリー乗船”



「出発式」 — 能古島渡船場前広場



主催者代表挨拶



能古島 福岡市西区に属する周囲約12kmの博多湾に浮かぶ島。「玄海国定公園」に属し、僅か10分の船旅で行ける福岡市民の憩いの島である。

能古島は、残島とも書き、古くは「能許、能巨、乃古」とも書かれ、奈良時代には「防人」がおかれた。島には、歴史や自然などの資料を展示する「能古博物館」や万葉歌碑、江戸時代福岡藩の鹿の狩猟場跡「鹿垣」など多くの史跡が残る。また作家の壇一雄がここで晩年を過ごしたことで知られ、四季折々の風情が素晴らしい自然と歴史の島である。

(トリヴィア)：島の中部には平安時代中期の「馬牧(牧場)」の跡が残っており、平家物語の宇治川の戦いで活躍した名馬「磨墨(するすみ)」は、この産?ともいわれる。

白髭神社(しらひげじんじや) 奈良時代の創建とされる島の“産土神(うぶすなみ)”で、神功皇后、猿田彦命などを祭神としている。神功皇后が住吉神社の神霊を残した島なので残島(のこのしま)となり、戦後に現在の地名になったという。

毎年10月9に行われる「おくんち」行事は、近世の民俗をとどめる祭りであり、福岡市の「無形民俗文化財」に指定されている。



本殿にある素晴らしい彫刻
“笛を吹く飛天(天女)”



— 歴史探訪 —





「能古博物館」 歴史や自然等の資料を展示している。写真、職員の手い説明に聞き入る。

能古焼古窯跡 江戸時代中後期に
わずか 20 年間操業された藩窯。
一つの窯から「有田焼系の磁器と高
取焼系の陶器」を焼成した窯として
希少であり、福岡市域内で唯一残さ
れた古窯として貴重な遺産である。



万葉歌碑（能古博物館側）

「風吹けば 沖つ白波 恐みと 能許の泊
まりに あまた夜そ寝る」 遣新羅使が、
能許の泊（現在の唐泊）で、幾日も船の風
待ちをしている時の不安でやりきれない思
いが詠まれている。「能許」という地名が
初めて文献に出た歌である。



アイランドまでまだ半分、歩け歩け！



野イチゴ、食べるよー！

— 自然観察 —

童心に返る!!
ただいま、野イチゴ狩りに
夢中！



珍しい植物を見つけては、熱心
に説明をする当自然部会員





のこのしま アイランドパーク



📷 記念撮影



今日は暑かねえ。えっ、笠地藏？

焼き物にふれる — 楽居窯

能許楽居窯（のこらっきょがま）は、「能古島いろり村」の中にある“能許楽居窯作陶会”の「穴窯」である。同会は、陶芸教室やイベントを通じて陶器の良さを広めている。※穴窯：丘の斜面を掘り下げて上部を土で覆ったトンネル形で、最も古い形式の登り窯。



素晴らしい眺めに歓声上がる！
沖に志賀島を望む。



📷 島のどこからでも絶景ポイント！

白い航跡を残し、すれ違う大型客船と対馬航路のフェリー



西区まるごと博物館推進会 歴史部会
〒819-8501 福岡市西区内浜 1 丁目4-1
(西区役所 企画振興課)

TEL 092-895-7032

(文・写真: 岩田)